



2024年3月期 第3四半期 決算説明

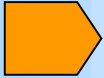
証券コード：6908

2024年2月2日

IRISO 電子工業株式会社
IRISO ELECTRONICS CO.,LTD.

私たちは、社会やお客様の期待を超える「つなげる」を実現します
Together, surpassing expectations by empowering connections
to enrich society and delight people.



-  **I. 2024年3月期第3四半期 連結決算概要**
- II. 2024年3月期 連結決算見通し**
- III. トピックス**

1. 2023年度3Q累計 業績のポイント

- 車載市場伸長の減速、コンシューマー・インダストリアル市場の調整局面継続により、累計売上高**411**億円、前年同期比**+4.1%**に留まる
- 3Q売上高は、2Qでの当社ERPシステム切替予定による一部顧客の安全在庫確保による反動減、中国・欧州車載市場の減速、コンシューマー・インダストリアル市場の更なる低迷により、前年同期比**-7.0%**
- 計画した売上・操業度が十分確保できず、営業利益**48**億円、前年同期比**-8.6%**(2Q累計+8.2%、3Q単独-32.2%)

単位：百万円

	2022年度 3Q累計	2023年度 3Q累計	前年比
売上高	39,519	41,140	+1,621 +4.1%
営業利益	5,242	4,792	△449 △8.6%
営業利益率	13.3%	11.6%	△1.6pts

2. 2023年度3Q累計 連結決算の概要



単位：百万円

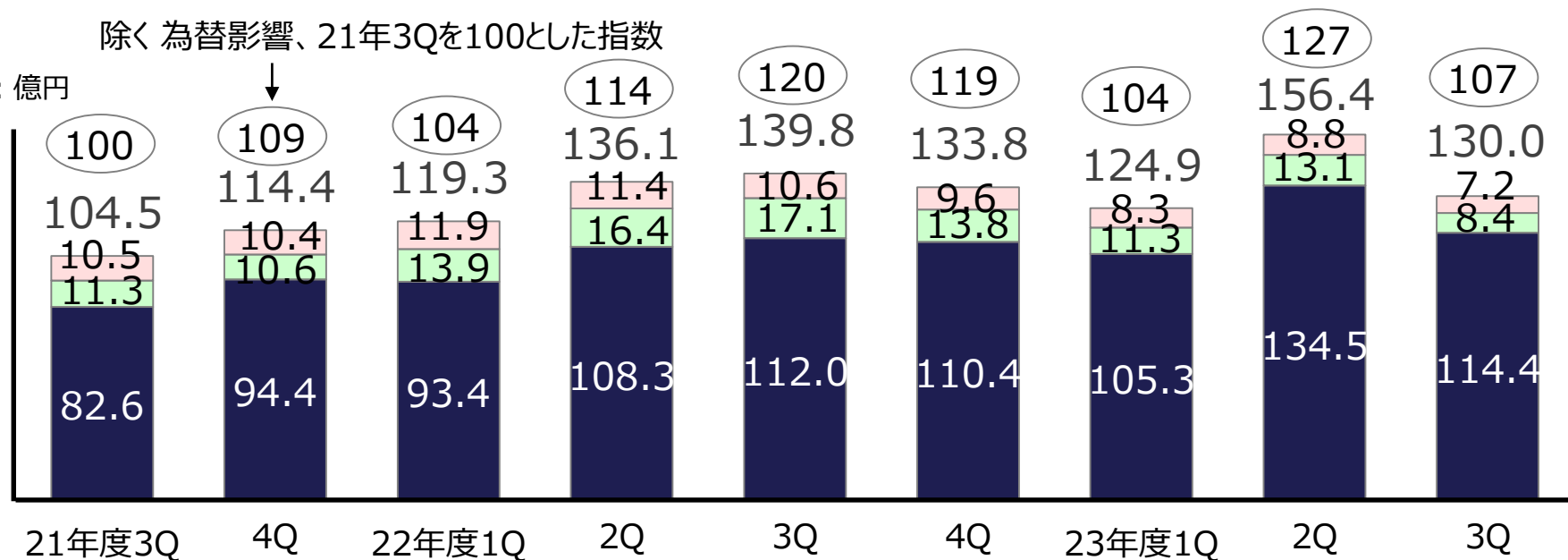
	22年度 3Q累計	23年度 3Q累計	増減額	増減率
売上高	39,519	41,140	+1,621	+4.1%
車載	31,369	35,429	+4,059	+12.9%
コンシューマー	4,756	3,272	△1,483	△31.2%
インダストリアル	3,392	2,438	△954	△28.1%
売上原価	26,347	28,076	+1,729	+6.6%
売上原価率	66.7%	68.2%		+1.6pts
販売管理費	7,929	8,271	+341	+4.3%
販売管理費率	20.1%	20.1%		+0.0pts
営業利益	5,242	4,792	△449	△8.6%
営業利益率	13.3%	11.6%		△1.6pts
税引前利益	5,435	5,316	△118	△2.2%
四半期純利益	4,350	4,294	△55	△1.3%
EPS	184.95円	182.56円		
設備投資	6,504	7,577	+1,072	+16.5%
減価償却	4,655	4,674	+18	+0.4%
為替レート	ドル：135.40円	142.76円	+7.36円	+5.4%
ユーロ：140.42円		155.19円	+14.77円	+10.5%
期中平均	元：19.75円	19.96円	+0.21円	+1.1%

3. 四半期別売上高・営業利益推移

除く 為替影響、21年3Qを100とした指数

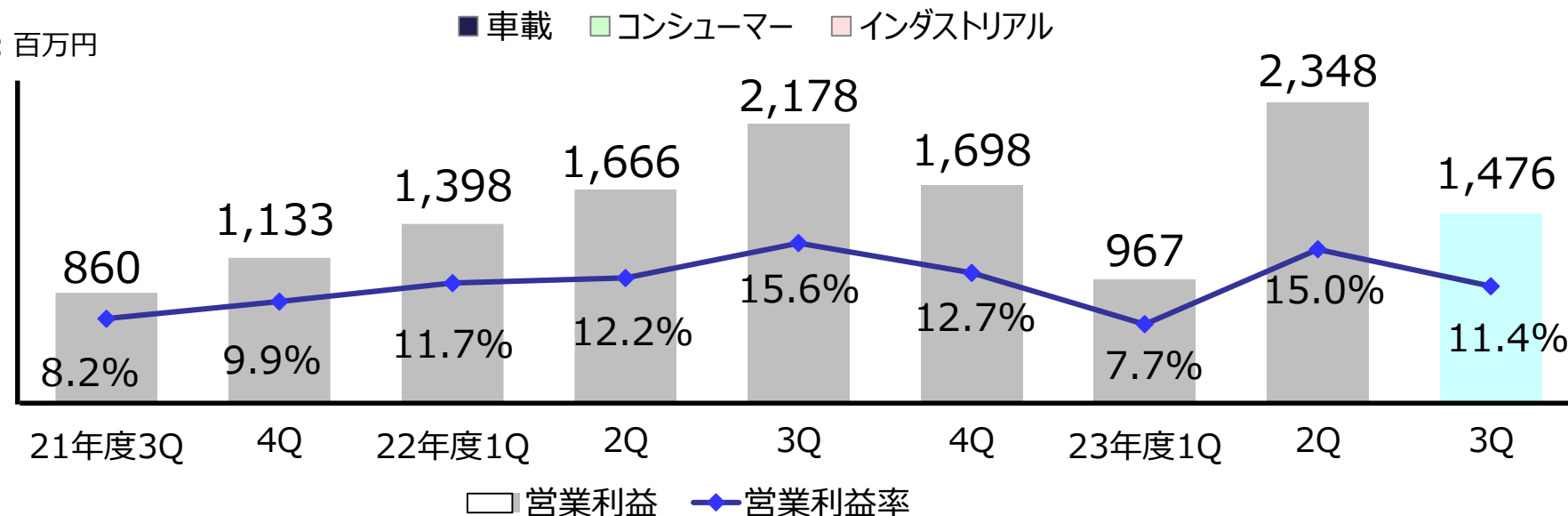
単位：億円

売上高



単位：百万円

営業利益



4. 地域別・製品別売上高

■ 地域別

単位：百万円

	22年度 3Q累計		23年度 3Q累計		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年比
日本	7,577	19.2%	7,328	17.8%	△248
中華・韓国圏	16,121	40.8%	16,459	40.0%	+337
アメリカ	4,788	12.1%	4,832	11.7%	+44
欧州	6,027	15.2%	7,065	17.2%	+1,037
ASEAN	5,004	12.7%	5,454	13.3%	+450
合計	39,519	100.0%	41,140	100.0%	+1,621
海外比率		80.8%		82.2%	

■ 製品別

単位：百万円

	22年度 3Q累計		23年度 3Q累計		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年比
BtoB	16,188	41.0%	17,940	43.6%	+1,752
FPC	8,904	22.5%	8,232	20.0%	△672
車載IF	11,278	28.5%	11,979	29.1%	+700
ピンヘッダー	1,613	4.1%	1,974	4.8%	+360
その他	1,533	3.9%	1,013	2.5%	△520
合計	39,519	100.0%	41,140	100.0%	+1,621

日本

- ・コンシューマー・インダストリアル市場の調整局面継続

中華・韓国圏

- ・コンシューマー市場低迷も、インフォテインメント分野を中心に車載市場がカバー

アメリカ

- ・UAWストライキ影響

欧州

- ・車載市場回復してきたが、3Qより成長率鈍化

BtoB

- ・車載市場の回復で増加
- ・“Z-Move[®]”、高速伝送対応新製品の貢献

FPC

- ・コンシューマー市場向低迷により減少

車載IF

- ・パワートレイン分野向けで増加、3Qより成長率鈍化

5. 対前年同期比 売上・営業利益変動

単位：百万円

	売上高	営業利益	営業利益率	要因
22年度3Q累計 実績	39,519	5,242	13.3%	
22年4～5月上海 ロックダウン影響戻し	+540	+180		売上減並びにロックダウン対応追加経費減
		△365		ロックダウンによる固定費営業外処理の戻し
為替影響	+1,635	0		USD: 135.40円→142.76円、105.4% EUR: 140.42円→155.19円、110.5% CNY: 19.75円→19.96円、101.0% →営業利益率△0.5%押し下げ
物量減	△554	△275		
材料費増		△450		金、樹脂材等高騰
固定費増		△700		人件費、経費増
一時費用		△490		・新ERP立上げによる経費増、資産減却、 債権放棄他→営業利益率△1.3%押し下げ
原価低減他		+1,650		収益構造改善による原価低減他
変動要因計	+1,621	△449		
23年度3Q累計 実績	41,140	4,792	11.6%	

6. 連結貸借対照表の状況

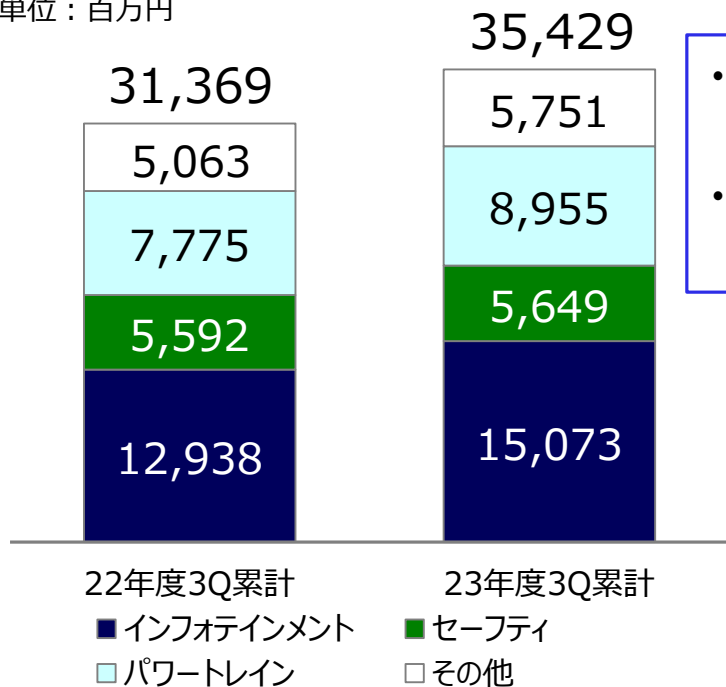
単位：百万円

	22年度	23年度 3Q	前年末比
流動資産	46,194	52,364	+6,169
現金及び預金	18,640	23,621	+4,980
売掛債権	13,956	14,297	+340
棚卸資産	12,067	12,501	+433
固定資産	36,297	39,081	+2,784
資産合計	82,491	91,445	+8,953
負債合計	14,472	18,694	+4,221
買掛債務	4,364	5,518	+1,154
借入金	2,493	6,498	+4,005
純資産合計	68,019	72,751	+4,732
株主資本計	58,787	61,200	+2,412
自己資本比率	81.7%	78.8%	△2.9pts

7. 市場別売上 オートモーティブ(車載)

■ 前年比+4,059百万円 (+12.9%)

単位：百万円



- ・自動車生産の回復もあり、3Q累計では堅調に推移するが、3Qより中国やEUで減速感あり
- ・インフォテインメントは自動車全体の生産増とナビ向け以外への広がりにより好調継続

インフォテインメント

- ・前年比:3Q累計+17%、3Q+9%
- ・海外顧客向け増加
- ・従来のナビ向けに加え、液晶パネルやIVI(In-Vehicle Infotainment)向けが貢献

パワートレイン

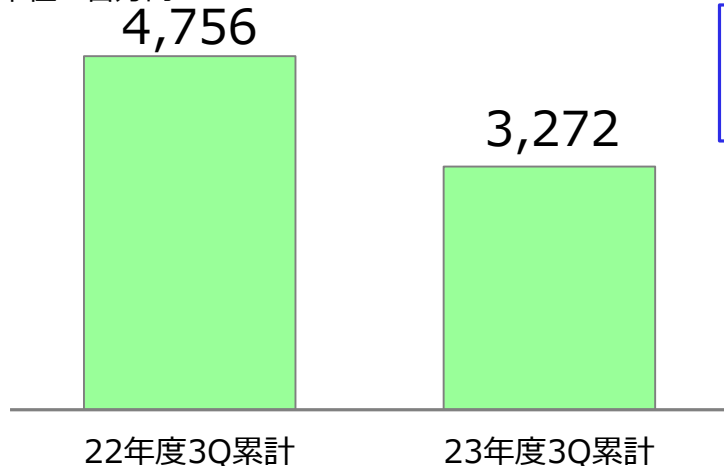
- ・前年比:3Q累計+15%、3Q-3%
- ・2Q比ではERP関連売上の反動減があるも、高水準を維持
- ・地域別では中国や、補助金が廃止されたEUで不透明感あり

	22年度				23年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
インフォテインメント	3,971	4,565	4,401	4,392	4,668	5,606	4,797
セーフティ	1,803	1,946	1,843	1,852	1,825	2,069	1,753
パワートレイン	2,092	2,496	3,186	2,996	2,190	3,674	3,091
その他	1,470	1,820	1,773	1,799	1,849	2,101	1,800
合計	9,337	10,828	11,204	11,039	10,534	13,452	11,442

8. 市場別売上 コンシューマー・インダストリアル

■ コンシューマー市場：前年比△1,483百万円 (△31.2%)

単位：百万円

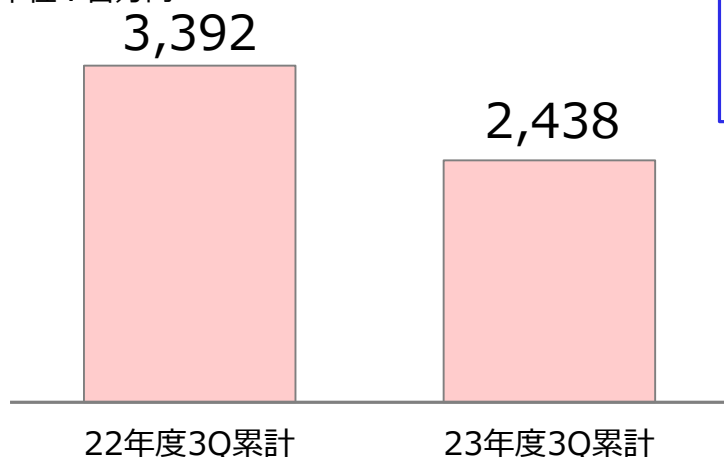


・上期までのテレビ、OA機器の落ち込みに加え、ゲーム機向けの需要減により減収

22年度				23年度		
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
1,398	1,647	1,710	1,385	1,130	1,307	835

■ インダストリアル市場：前年比△954百万円 (△28.1%)

単位：百万円



・中国の設備投資調整、5G基地局向けの減少継続により減少

22年度				23年度		
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
1,193	1,138	1,060	960	831	884	722



I. 2024年3月期第3四半期 連結決算概要

 **II. 2024年3月期 連結決算見通し**

III. トピックス

1. 2023年度 業績予想

■ 一部車載市場における成長の鈍化、コンシューマー・インダストリアル市場の低迷継続より、通期計画を修正

4Q為替レート：ドル:140円、ユーロ:155円、中国元:20円

単位：百万円

	22年度	23年度		前年比	前回計画比
	通期	通期 前回計画	通期 修正計画		
売上高	52,903	57,000	54,500	+1,596 +3.0%	△2,500 △4.4%
売上原価率	67.3%	67.5%	68.0%	△0.7pts	△0.5pts
営業利益	6,940	7,700	6,550	△390 △5.6%	△1,150 △14.9%
営業利率	13.1%	13.5%	12.0%	△1.1pts	△1.5pts
税引前利益	7,034	8,000	6,800	△234	△1,200
当期純利益	5,541	6,200	5,300	△241	△900
EPS	235.58円	263.56円	225.30円		
為替レート	134.95円	140.71円	142.12円	+7.17円	+1.41円
期中平均	141.24円	154.20円	155.14円	+13.90円	+0.94円
	19.68円	19.89円	19.97円	+0.29円	+0.08円
設備投資	8,427	10,200	9,800	+1,372	△400
減価償却	6,168	6,700	6,500	+331	△200

2. 2023年度 市場別売上高計画

単位：百万円

	22年度		23年度				3Q累計 進捗率
	売上高	構成比	前回計画	修正計画	構成比	前年比	
車載計	42,409	80.2%	48,600	47,300	86.8%	+11.5%	74.9%
インフォテインメント	17,330	32.8%	20,200	20,000	36.7%	+15.4%	75.4%
セーフティ	7,445	14.1%	7,600	7,300	13.4%	△2.0%	77.4%
パワートレイン	10,771	20.4%	12,800	12,200	22.4%	+13.3%	73.4%
その他	6,862	13.0%	8,000	7,800	14.3%	+13.7%	73.7%
コンシューマー	6,141	11.6%	4,900	4,000	7.3%	△34.9%	81.8%
インダストリアル	4,352	8.2%	3,500	3,200	5.9%	△26.5%	76.2%
合計	52,903	100.0%	57,000	54,500	100.0%	+3.0%	75.5%

3. 市況変化に対応する経営戦略の見直し

- 重点施策として、収益構造の改善、戦略製品ラインナップ強化、営業力強化、生産能力拡大・BCPの強化、新ERPシステムの円滑立ち上げの5項目を推進

■ 当社ターゲット市場での変化・兆し

- ・ 中国での日系完成車の不振、xEV市場の成長率鈍化、今後の価格攻勢激化
- ・ EUでのEV補助金廃止、経済成長率鈍化等によるEV車需要に対する構造変化
- ・ 日系顧客を中心としたコンシューマー・インダストリアル市場の低迷継続



■ 経営戦略の見直し

現状推進している戦略製品ラインナップ・営業力強化に加え、成長市場の先取り強化と品揃え強化による拡販、収益力改善については、標準品の拡大と生産拠点の役割見直しを行う

■ 販売戦略

- ・ 統合ECU向けソリューション開発強化と前倒しによるインフォテインメント分野拡大
- ・ パワートレイン分野における日欧米韓の顧客への事業拡大
- ・ 調達品並びにODM活用による品揃え強化

■ 収益力改善戦略

- ・ 標準品の構成比拡大による生産・投資効率改善
- ・ 秋田新工場操業により、W/W生産拠点の役割再整理、コスト競争力強化





I. 2024年3月期第3四半期 連結決算概要

II. 2024年3月期 連結決算見通し

 **III. トピックス**

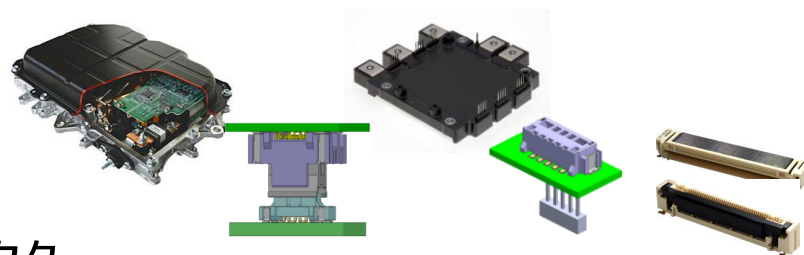
■ xEV向け製品ラインナップの強化

- ・自動車の電動化への対応として、xEVに使用されるインバーター、コンバーター向けに2種類のFPCコネクタの新製品を量産開始

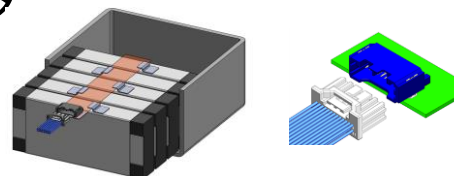
シリーズ	特長
11507 シリーズ 	ロボットによる自動組立を容易にする当社独自の“Auto I-Lock”構造に、樹脂レバーと2点接点を採用し高耐熱性を向上させた製品
11607 シリーズ 	

【xEVのパワートレイン機器向け製品】

- ①PCU(インバーター、コンバーター)、モーター向け：
 三次元可動BtoBコネクタ(Z-Move®) + 高耐熱FPCコネクタ(Auto I-Lock)
 →・ハーネスレス、半田レス接続可能
 ・機器の小型軽量化/自動組立に貢献



- ②バッテリー向け：小型Wire To Boardコネクタ
 →機器の小型軽量化に貢献



会社名	イリソ電子工業株式会社
事業内容	各種コネクタの製造・販売
設立年月	1966年12月
社員数	3,104名(2023年3月31日現在)
資本金	5,640百万円(2023年3月31日現在)
本社	神奈川県横浜市港北区新横浜2-13-8
営業拠点	
国内	本社、福島県、茨城県、愛知県、大阪府
海外	シンガポール、香港、アメリカ、ドイツ、タイ、韓国 中国(上海、大連、天津、蘇州、深圳、重慶)、台湾、インド
研究開発	本社(イリソテクノロジーパーク)、 川崎(生産技術センター)、岩手県(花巻工場)、上海R&Dセンター
工場	茨城県、中国(上海、南通)、フィリピン(マニラ)、 ベトナム(ハイズオン)

コネクタの種類

基板対基板コネクタ (BtoBコネクタ)

プリント基板の接続用に開発されたコネクタの総称でボード・ツー・ボードコネクタ(ボードtoボードコネクタ)とも呼ばれる。垂直接続、平行(スタッキング)接続、水平接続など組み合わせで、さまざまな接続が可能となる。B to B (ビー・ツー・ビー)は、当社の登録商標として市場で広く浸透している。

FPC/FFCコネクタ

FPC基板(Flexible printed circuits)やFFCケーブル(Flexible flat cable)の接続用に開発されたコネクタの総称。コネクタの挿入時に力を加えずにロック可能なZIF(Zero insertion Force)タイプ、挿入したときに力が発生するNON-ZIFタイプがある。

IFコネクタ

IFとは、インターフェイスの略で、機器間の信号の接続を行うコネクタのことで、I/O(インプット/アウトプット)コネクタとも呼ばれる。カーナビ、PCなどさまざまな機器の側面(裏・表面)に装着され、機器への電源供給、音声・映像信号データなどの入出力を行う。

ピンヘッダー

線材をカット加工した“ピン(電導体)”をハウジング(樹脂材でできた絶縁体)で支えたプラグ(オス側)コネクタの基本形であり、さまざまな分野・機器の内部接続(基板間接続)に使用されている。横から見ると、生け花の花止め“けんざん”のように見えるのが特長。メス側はソケットと呼ばれる。

この資料に記載されております業績の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な資料に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに依拠してご判断されることはお控え下さるようお願いいたします。

なお、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

私たちは、社会やお客様の期待を超える「つなげる」を実現します
Together, surpassing expectations by empowering connections
to enrich society and delight people.